

徹底分析!

# 工事に談合情報！ 越前市をダメにする

市政に物言えぬ市議たち…。

武生市と今立町が合併して10年が経過するも、奈良市長のしつかりとした越前市の目標や方向性は定まらず、慣れあい行政に不満や不信続出！市幹部と職員は物言えずバラバラ。市議も理事者をスバツと追及出来るほど識見高き人物は見当たらない。幹部を退職するや社会経験も無い者が即、商工会議所の専務に就き、商工会議所主導に成されるままの市長と市議会。奈良市長が「半世紀に一度」と豪語する越前市のまちづくりには様々な思惑が絡み、市や県の発注工事に次々と談合情報が寄せられるなど不透明極まりない！  
(文責：嵯峨十郎)

## 学校の耐震補強工事 地元業者が分け合う

越前市や県が発注する公共工事の入札に「談合疑惑」が相次いだ。

6月1日入札書締切、執行日2日開札予定の入札に談合が指摘された。入札締め切り前の5月26日、白山小学校解体工事は地元建築業者5社間で設計額の200万円引きで落札業者がすでに決まっていた。しかし、落札予定者の価格を知る業者が92%で落札す

れば大手解体業者にほぼ丸投げ出来るとT組に加盟した。解体工事は両方で破格の利益を生むため約束破りが不服となり、旧武生市の土木業者が警察へ談合情報を訴えたため県と市が直ちに調査した模様。

一方、福井県土木部建築住宅課入札(6月1日締切)の3工事について談合情報が流された。県は入札に参加した業者を呼び、入札を保留とし談合の有無について調べた結果、談合は無し」と判断。後記の3件の工事の内、①と③の2件は予定通り、②の1件は

業者を変更し、6月11日に落札業者が決まった。

①武生商業高校仮設校舎工事(設計額8099万)、②管理棟耐震補強(1億4051万)、③普通棟耐震補強工事(1億542万)。  
また、越前市企画部財務課の入札(6月3日締切)6件についても「談合あり」と旧武生市土木建設業者からの指摘が報じられたことで、市財務課と工事担当部署が共に6件の入札に参加した建築一式工事業者を呼び、約1週間に亘り聞き取り調査を行った結果、

# 越前市と県発注の9 奈良市長の非力が



武生の特定業者と有力者主導！慣れあい奈良